

1. 事業全体概要

木材利用は、化石燃料の代替によるエネルギー起源二酸化炭素（CO₂）の排出削減に加えて、炭素の貯蔵及びエネルギー集約的素材の代替の面からも、地球温暖化防止に貢献するとされている（IPCC（2001））。

しかしながら、その効果の定量的な把握・分析については、一部でなされているものの、建築物や家具等個々の製品や部材別のデータの蓄積等、未だ不十分な状況である。

世界の森林が減少を続ける中、国土の約7割を占め、年々資源量が増加する我が国の森林から生産される木材について、この環境面での貢献を定量的に明らかにしつつ、その効果を消費者に訴え大幅な利用拡大を進め、木材利用による二酸化炭素削減を促し、低炭素な資源循環型社会を構築することが喫緊の課題となっており、この実現に寄与することを目的とし、事業を実施した。

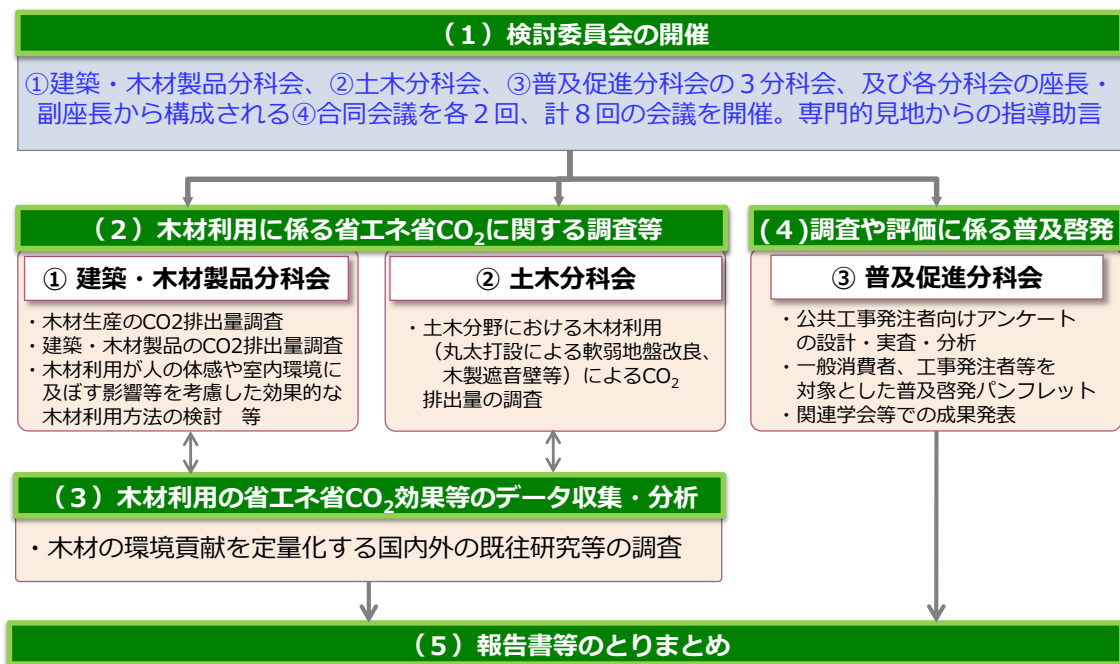


図 1-1 事業の全体像